

**サギタリウス・チャレンジ チャレンジ部門
企画実施報告書**

タイトル	奈良の伝統工芸を「つたえる」プロジェクト
実施日	2014年 4月 1日 (水) ~2015年 3月 20日 (金)
企画概要	東京の伝統工芸である「つまみ細工」は、着物の端切れを使って、布を折ったりつまんだりして作ります。年齢・国籍・性別関係なく、1~2時間ほどで実際に作ることができるという特徴を活かして、奈良の伝統工芸に触れるきっかけを作りたいという思いから、奈良の伝統工芸である奈良晒の生地を使って、つまみ細工を作る少人数制のワークショップを開催しようと考えました。
活動状況	2014年4月~6月 職人さん10人に取材 2014年12月26日 ワークショップ予行練習 2015年 3月~東京フィールドワーク 3月7日 ワークショップ
考 察	企画当初は、奈良晒の素材を使う予定であったが、笠間藍染という奈良の伝統工芸があることを知りました。調べていると、藍染は冷え症や肌荒れ、皮膚病にも効果があるということを知って魅力的に感じたので、その素材を使って、ワークショップをすることにしました。ワークショップはSNSを使って人を呼び、3人が参加してくれた。参加者の人からは「これなら自宅でも作れそうなので、作ってみたい。」「伝統工芸という感じがなくて、日頃も使える物だから嬉しい。」「友達にあげるプレゼントとかにも良さそう。」という意見が出て、伝統工芸の敷居の高いイメージを払拭できたことは、本企画の目標のひとつでもあったので、良かったと思います。
所 感	今回のサギタリウス・チャレンジでの気づきは大きく2つあります。まず、一人ではなく、仲間と一緒にプロジェクトをやり遂げるという視点が足りなかったということです。一人で始めたからには、最後までやり遂げたいという思う気持ちが強かったため、周りが見えなくなっていたこともあったように思います。 次に、このプロジェクトは10年、20年という時間をかけてするからこそ意味があるということです。サギタリウス・チャレンジに挑戦する前に、経営学部の教員にかけていただいた、このお言葉の意味が、プロジェクトを進めるうちに身に沁みて理解できるようになりました。今後も、ライフワークとして、焦らずに、じっくりと取り組んで行きたいと思っています。